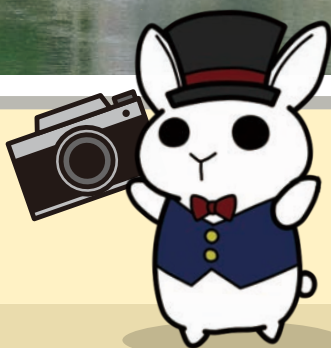


としょかん

109

2024.4.1

大阪経済大学図書館報



姫路城の春
きまぐれ屋

特集

タイトルが
気になる本

CONTENTS

- 第25回 ビブリオバトル
- 図書館1階リニューアル
- 読書スタイル
- 学生サポーター募集
- 私のおすすめ多読本vol.5
- 編集後記

タイトルが 気になる本

ブラタモリ 10

NHK「ブラタモリ」
制作班 監修

請求番号:291.09/Nhk/10
資料ID:50088857



このタイトルと特徴的なサングラスのイラストで勘の良い方は気が付いたかもしれませんが、この本は人気番組「笑っていいとも!」の元司会者タモさんと様々な場所をぶらぶら見て回る内容となっており、今回紹介する10巻は少し不気味な富士の樹海から私たちが住む大阪、更には知床にまで行くという読み応えのある一冊です。この本を読んで、あなたもタモさんとの疑似散歩体験をしてみませんか？

気まぐれ屋

読書脳

樺沢 紫苑 著

請求番号:019/Kab
資料ID:50108247



「この本を読めば、読書効率が2倍になる」と断言出来ると言われたらあなたは信じるでしょうか。この本は、今まで読んだ中でもtop3に入るレベルで衝撃的でした。自分の読みたいところから読むワープ読書術・寝る前に読むことで効率上がる熟睡読書術・本を単語帳のように書き込むマーカー読書術など読書効率を上げる様々な方法が載っています。読書が苦手・得意に関わらず、一度手に取って読んでみてください。この本を読めば、どんな人でも読書をしたいと思えるに違いありません。

とろろ

JK、 インドで常識 ぶっ壊される

熊谷 はるか 著

請求番号:292.5/Kum
資料ID:50104359



普通的女子高校生になるはずだった著者が、ある日突然インドに移ると家族に告げられるところからこのエッセイが始まります。著者が現地で感じたインドの習慣、問題などが詳しく書かれています。著者が私たちと同年代なので読みやすく、普段エッセイを読むことが少ない私でも気軽に読み進めることができました。読んでいる中でいくつも驚くことがあり、この本を通して、私がかかっていたインドのイメージは想像でしかなかったということに気づくと同時に当たり前だと思っていたことが当たり前でない人々もいるということを改めて実感しました。

かれ



みなさんは本を読むとき、何を基準に選びますか？

作家、ジャンル、誰かのおすすめ、表紙のイメージ…、選ぶポイントは色々ありますが、今回は「タイトル」で選んでみました。

世界から猫が 消えたなら

川村 元気 著

請求番号:913.6/Kaw
資料ID:50079144



この本は主人公の僕が病院で余命宣告をされて始まります。戸惑う僕のもとに悪魔がやってきて、世界からひとつだけ何かを消す代わりに、1日の命を得ることができると、取引を持ちかけられます。僕は取引をしていく中でいろいろなことに気付いていきます。この本のタイトルが気になったのは猫が好きなので消えてしまうなんて考えられないと思い、どうなるんだろうと思ったからです。自分や世界を見つめ直すことができる一冊ではないかと思います。

S.H

嘘をついたのは、 初めてだった

講談社 編

請求番号:913.68/Kod
資料ID:50108875



書き出しは全て「嘘をついたのは、初めてだった」という1行で始まる29名の作家による短編ストーリー集です。表紙を見たときに、知っている作家から知らない作家まで沢山の名前がずらりと並んでいるところに惹かれ、読んでみました。同じ書き出しにも関わらず、それぞれ違う物語が展開されていくことに、作家の凄さと面白さを感じる1冊でした。本を読むのが苦手な方でも、気になるタイトルや著者から気軽に読むことができるので非常におすすめです！

いと

もし文豪たちが カップ焼きそば の作り方を 書いたら

神田 桂一、菊池 良 著

請求番号:913.7/Kan
資料ID:50088044



タイトル通り、太宰治、ドストエフスキーから星野源まで、100人の作家やアーティストたちが焼きそばの作り方を書いたらという文体パロディ集。元ネタの特徴を捉えた言葉遊びや有名なフレーズを使ったユーモアのある言い回しが、モノマネ芸人を見ているようでクスッと笑えます。ここに出てきた知らない作家を調べて作品を読んでみるのもまた楽しいと思います。

なんとなく疲れた時や、何も考えずに笑いたい時にオススメしたい1冊です。

ちー

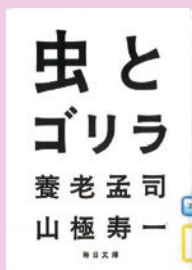
タイトルが気になる本



虫とゴリラ

養老 孟司、
山極 寿一 著

請求番号:X2402/469.04
資料ID:50108535



「虫とゴリラ」。タイトルだけではなんのことが全然わからないと思います。私もタイトルに惹かれてこの本を手に取りました。この本は虫やゴリラの視点、つまり自然から人間世界を捉えており、人間と自然との関わりを考えさせる内容です。この本は二人の対話形式で話が進行するので普段小説を読むような人にも読みやすくおすすめです。人間の脳について詳しく書かれていたり、基本的なところから専門的なところまで書かれていて、薄い本ですが読み応えはあると思います。ぜひ読んでみてください。

ともや

レタス・フライ

森 博嗣 著

請求番号:913.6/Mor
資料ID:50038319



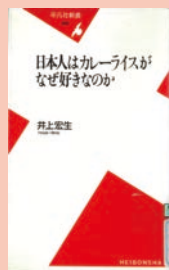
私がおすすめするのは「レタス・フライ」という短編集です。収録されている作品はオカルトミステリーが多く、わかりやすい内容になっているので、ミステリー初心者におすすめの一冊です。この短編集で私が特におすすめしたい話は「砂の街」です。半年前から濃い砂塵が吹くようになった町にきた主人公。なぜ砂がこんなにも舞っているのか。原因を調べているという学者、真衣に話を聞き……。鳥肌間違いなしの作品です。ぜひ読んでみてください。

k.k

日本人は カレーライスが なぜ好きなのか

井上 宏生 著

請求番号:383.8/Ino
資料ID:50024458



皆さんはカレーライス、好きですか？日本、インドはもちろん、イギリスなどでもカレーライスは親しまれていますが、伝統料理が中心の中東では日常的にはあまり食べられていません。そんなカレーライスがなぜ日本で広く愛されているのか、その歴史的背景には何があったのか、そういったことを知ることができる本です。もしかすると読んでいる間にカレーライスを食べたくなってくるかもしれません。カレーライス好きの方は是非その背景を知って、もっとカレーライスを好きになってください。

えのき將軍

第25回 BIBLIOBATTLE ビブリオバトル

10月20日(金)3限目に、図書館1階ラーニング・コモンズで第25回ビブリオバトルを開催しました。

今回は6人中5人が初出場という、フレッシュなバトルとなりました。

6人が紹介した本は、目にしたことがあるものからタイトルすら聞いたことのないものまで、かなりバラエティに富んでいました。観客のみなさんは、投票に悩んだのではないのでしょうか？

バトルをはじめ、図書館学生サポーター、観客として参加して下さった皆さん、ご協力下さったすべての皆さん、どうもありがとうございました！



発表本

『きみはボラリス』
三浦 しをん 著



第25回 ビブリオバトルチャンプ

経営学部
3年生

中村 吉男さん

ビブリオバトルとは？

- ① 発表者（バトル）が他の人に勧めたい本を持って集まる
- ② 順番に一人5分間で本を紹介する
- ③ 2～3分間のディスカッションタイム
- ④ 最後に「どの本が一番読みたくなったか」を観客が投票で決める



★ チャンプコメント ★

ビブリオバトルに参加して非常によかったです。

人前に立ってスピーチをすること自体、やはりどうしても緊張してしましますが、終わってみれば非常に良い体験であったと思っています。また本を紹介してくれる事で読みたい本も見つかるので非常に良い行事だと思っています。

このような機会を下され、ありがとうございました。

★ 司会感想 MU ★

はじめてビブリオバトルの司会を務めました。素晴らしい大会の司会を務めたことをとても光栄に思いました。1度はやってみたいという気持ちもありました。実際に司会を務めましたが、とても重圧を感じました。進行を行ったり、自ら質問をして質疑応答を観客席の人たちを質問しやすいような雰囲気を作ることが司会を努めて苦労しましたが、これから社会人になってこのような大きいプレゼンや大きい大会でのプレッシャーや緊張を味わうことが出来て光栄でした。

★ バトラー感想 ところ ★

私が入学した時は、入学式の中止・オンライン授業での学生生活など想像していた学生生活とは大きく異なり、不安を感じながら生活を送っていました。その中で、とある教授からのお誘いを受け、元々読書が趣味だったこともありビブリオバトルに参加しました。初めて参加した時は、自分の思いを観客に伝えられるか不安でしたが、「その本面白そうだから読んでみるよ」と観客の方に言われた時にはすごく嬉しい気持ちになり、1年生で全国大会に出場したことは、自分のプレゼンテーションに自信を持つきっかけになりました。また、他のバトルで紹介する本は今までに自分が読まなかったジャンルが多く、実際に読んでみることで好きな作家が増え、読書のモチベーションを高めてくれました。「大学生で頑張ったことは、ビブリオバトルである」と胸を張って言えるほど、私にとっては大切なイベントでした。皆さんも、バトルはもちろん、観客としてもビブリオバトルに参加してほしいと思います。

図書館1階 リニューアル

図書館1階は2023年秋にリニューアルしました!

100周年ビジョンの創発の場として、東側閲覧室は、本の景色が広がる「探求の森」、西側ラーニング・コモンズは、学生同士の自由な活動、ディスカッションを促す「創発の泉」となっています。新しくなった図書館を学生サポーターが紹介します!

探求の森

東側は「探求の森」と呼ばれており、雑誌や新着図書などがあります。西側の「創発の泉」は学生たちでにぎわっており課題を進めたりプレゼンテーションの練習をしたりすることに適切ですが、「探求の森」は静かなので読書に集中したい人におすすめです。個人的には改装前より椅子の数が多かった印象があります。読みたい本を見つけたらすぐに読書を始められるところが気に入っています。おしゃれて落ち着いた雰囲気の中、ゆったりと読書を楽しむことができます。(かれ)



東

探求の森

創発の泉

西

入館ゲート

創発の泉

入館ゲートから入って右側にある空間の名前は「創発の泉」。図書館内で飲食や友達との会話ができる場所として新しく造られました。学生同士の自由な活動やディスカッションを促す空間として生まれ、室内は緑や明るい色で包まれており、開放感ある造りになっています。さらに、光庭近くにある貸出パソコンを利用し、新しく設置された巨大なスクリーンを

用いて発表などを行うこともできます。ちょっとした空き時間やお昼時などに、全く新しい空間になったこの「創発の泉」を利用

してはいかでしょうか。

(k.k)





読書スタイル

今この「としよかん」を読んでくれているみなさん全員が、読書大好き!というわけではないと思います。そこで今回は、本をよく読んでいる図書館サポーターに、自分の読書スタイルを教えてくださいました。みなさんもぜひ自分なりのスタイルを見つけて、読書を楽しんでください!

Q 最近は電子書籍も多く出ていますが、紙の本と電子の本のどちらが好きですか?

A 高校生から去年の秋まで、紙媒体でしか本を読んだことがなかったのですが、電子書籍リーダーを買って、今は、紙と電子の二刀流で本を読み進めています。電子書籍を活用すれば、持ち運びがかなり楽で、最も高いと思われる「読み始める」というハードルが下がったと感じます。印刷費がかからないこともあり、紙媒体よりも安く購入できるところもメリットです。 ところ

Q 文庫本と単行本、どちらが好みですか?

A 文庫本です!僕は仰向けに寝転んで本を読むことが多いのですが、文庫本は軽くて腕が疲れにくく、なんといっても値段が安いので好きです。

Q おすすめの読書グッズを教えてください。

A 電子書籍リーダーKindleがおすすめです!コンパクトで持ち運びが簡単なのももちろんですが、長時間の読書でも目が疲れにくいです。 ちー

「BOOK MARRY」を活用しよう

BOOK MARRYは、ユーザーが大経大に限定された、本のレビューアプリです。他の学生・教職員が読んだ本のレビューを見たり、参考になったレビューに「いいね」を付けたり、自分が読んだ本のレビューを書いて読書記録を付けたりすることができます。また、「この本、面白いのな」「レポート作成に役立つだろうか」等と思ったときや、「この人と好きな本が似ているな」と思ったとき、「この本はどうでしたか?」とレビューを依頼する「レビューリクエスト」という機能もあります。利用者は本学学生・教職員だけなので、安心して投稿できます。あなたの読書に、BOOK MARRYも役立ててください!



利用申込はこちら



学生サポーター募集

君も学生サポーターになれないか!

学生サポーターは学生で構成されている団体です。サポーターのみなで図書館における様々なイベントを運営しています。代表例としてはピブリオバトルの運営や展示本の選定、あなたが今読んでいる館報の作成などを担っています。また、一昨年から学祭にも模擬店を出店しており、みんなで協力して図書館外の活動にも挑戦しています。

気まぐれ屋

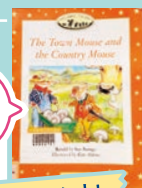


私のおすすめ 多読本

vol.
5

経済学部教員
吉田 弘子

表紙



多読・多聴のヒント!

頭の中で日本語に訳すことなく集中して8分程度で読み終えたらOKです。お話がシンプルで分かりやすいので、初心者の人でもキリン読み(自分のリーディングレベルより時々高いレベルの本をチャレンジすること)で試してみるにもいいでしょう。ただし、一定のペースで読むことができない場合や読んでいる最中に集中できなければまだリーディングスaminaが足りないと考えられます。自分が集中して読むことができる語数の少ない本に戻りましょう。

書名 The Town Mouse and
the Country Mouse
請求番号 洋書PB, PB PB1057

YL0.7
総語数 830語

多読に慣れた初心者~中級者向け
CDなどの音声はありません

今回は、Oxford Classic Tales (OCT) シリーズのThe Town Mouse and the Country Mouse を紹介します。主人公は町に住むねずみと田舎に住むねずみ。ある時、町のねずみは友人の田舎のねずみの家を訪ねます。自然があふれる田舎ですが、町のねずみはなじみませんでした。そして、今度は田舎のねずみが町のねずみの家に行きます。何もかもにぎやかな街の豪華な家でしたが、今度は田舎のねずみが戸惑うばかりです。お互いに出した結論は...というストーリーです。YL0.7で総語数が830語の本ですが、話の展開がわかりやすいため読みやすく感じられるでしょう。また、かわいい素敵なイラストでそれぞれの家の様子が描かれています。二人の(?)ねずみが着用しているおしゃれな服にも注目してみてください。

編集後記

学生サポーターは今でこそたくさんの方が所属していますが、少ないときは3人だったそうです。今回の館報を読んでもさらに大勢の人がサポーターに入り、皆で協力して図書館を今よりも楽しい場にできればと思います。

気まぐれ屋

ビブリオバトルで司会をしたのは最初で最後であった。このような経験は私の人生の中では大きな財産である。以前はビブリオバトルの司会をするのには消極的であったが、司会をしたことで見たことのない景色を見ることが出来た。バトルの動きや観客の動き、裏方の動きなどに常にアンテナを張ることやコミュニケーションを取ることで司会ならではの難しさを感じた。常に気を張り続けて進行するのは難しかったが、やったことで得たものは大きい。

MU

今回も濃い内容の図書館報ができました。楽しんでいただけると幸いです。私が特に気になっているのは読書スタイルのQ&Aのコーナーです。新入生、在学生問わず学生サポーターに興味のある方、ぜひお待ちしております!

かれ

今回のテーマは「タイトルが気になる本」でした。タイトルに注目して本を読むことはあまりないのですが意外と本のタイトルは大事な要素だなと感じました。図書館などで本棚を探しているとき「おや?」と思うタイトルの本が見つかることがあります。意外と面白い本だったりするのでとりあえず読むことも大切だなと感じました。

ともや

コロナウイルスで不安しかなかった学生生活でしたが、学生サポーターがきっかけで、直木賞作家である今村翔吾さんとお話できた経験は、今でも鮮明に覚えています。大学生活を彩りあるものにしたくれたのは間違いなく学生サポーターのおかげです。今までありがとうございました。

とろろ

本の紹介を書くにあたって、今回は普段読むことのないジャンルの本に挑戦してみました。これまで読書に限らず、ジャンルのという括りに縛られがちでしたが、今回の選書で食わず嫌いはもったいないと改めて思いました。

ちー

本の紹介ではカレーライスという言葉を連発しましたが、皆さんはカレーライスを食べたくなっただけでしょうか。私は自分で言っておいて今ものすごくカレーライスを食べたい気分です。他の本も是非読んでみてください。

えのき将軍

今回、始めて図書館報の本の紹介文を書きました。本を紹介するのはあまり得意ではないですが、図書館サポーターとして携わることができて嬉しく感じました。これから活動していければいいなと思います。

S.H

気付けば最後の編集後記。図書館サポーターの1人として様々な経験をさせていただき、実りのある大学生活となりました。図書館スタッフの方々や学生メンバーに感謝の気持ちでいっぱいです。大変お世話になりました!

いと

今回、図書館1階リニューアル記事の「創発の泉」について書かせていただきましたが書ききれない魅力が多く歯がゆい思いでした。ぜひ実際に行ってみて変化を体験してほしいです。

k.k

大阪経済大学図書館

2024年4月1日発行

〒533-8533 大阪市東淀川区大隅2丁目2-8
Tel.06-6328-2431 (代表) <https://www.osaka-ue.ac.jp/research/library/>

